

駒場

2000

東京大学大学院総合文化研究科  
東京大学教養学部



KOMABA2000 SUPPLEMENT  
GRADUATE SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

GRADUATE SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

**[駒場]2000**  
SUPPLEMENT

## 表紙について

---

タッデオ・ガッディ

〈金銀細工工場の聖エロイ〉部分

藤田吉香氏（国画家会員、1929～1999）による模写作品（教養学部美術博物館所蔵）。

原画は、イタリアの画家タッデオ・ガッディ（1300年頃～1366年頃）の「金銀細工工場の聖エロイ」6号大（34.5×39.0）。藤田氏が1962年にマドリードのプラド美術館で研究生として模写し、持ち帰ったものである。ジョットーの弟子であり名付け親でもあったタッデオ・ガッディの主要作品は、フィレンツェのサンタ・クロッチェ寺院の壁画だが、その作中人物の大小、位置にはまだ近代的遠近法は採用されていないといわれる。藤田氏の模写についても同じことが言えよう。しかしそういう画を模写して、画面の不自然さを模写ゆえに拡大してしまわないようにする藤田氏の苦心は並大抵ではなかったろうと思われる。画面は金銀細工その他、あらゆる槌を使う職人の守護神エロワがまだ在俗中、材料の金を受け取りに来た姿をあらわすらしい。円光を頂くバラ色の衣装を着た、田舎娘のような人物は誰か詳らかでないが、「聖エロワと許婚の男女」という画題は他の、たとえば16世紀のフランドルの画家などにも見られるので、その画題の源となった伝説的場面をこの絵はあらわしているのかもしれない。しかし、左の玉らしきものが、金貨の製作に秀でた彼を重用したフランク王クロテール2世とすれば、円光を頂く娘のような人物も聖エロワ自身ととるべきかもしれない。ジョットーが開始した絵を聖典の絵解きから解放する運動を滞らせたと評され、それを自認せぬでもなかったガッディの模写であるから、これが精彩に乏しいのはやむをえないが、しかし、この古樸謙抑の味は拘すべきだし、模写技法はこれで十分入念である。模写は精密忠実きわまる態度・技法から生まれ、しかも生きた美しい作品となりえているのは珍重するに足りる。

GRADUATE SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

[駒場] 2000  
SUPPLEMENT



東京大学大学院総合文化研究科  
東京大学教養学部

# [駒場] 2000 SUPPLEMENT

東京大学大学院  
総合文化研究科  
東京大学教養学部

## ●目次

まえがき	7
I 2000年度における大学院総合文化研究科・教養学部	
1 創立50周年記念事業	10
2 前期課程教育の授業外部評価(外国語)の実施	13
3 DAAD寄附講座「ドイツ・ヨーロッパ研究」の開設	16
4 セクシュアル・ハラスメント等の相談・防止体制	18
5 図書館の新営	20
6 進学振分け方法の改善	26
II 大学院総合文化研究科・教養学部では、誰がどのような教育・研究を行っているか	
凡例	32
教官の経歴と業績	
専任教官	34
客員教官	42
外国人教師	46
付属資料1	
2000(平成12)年度志願,合格,入学状況	50
2001(平成13)年度進学内定者数	51
定員の推移	52
2000(平成12)年度のクラス編成表	53
研究生	55
留学生	56
付属資料2	
シンポジウム	58
講演会	60
公演・演奏会	62
学外からの評価	63
2000(平成12)年度科学研究費補助金	64
2000(平成12)年度奨学寄附金	76
2000(平成12)年度受託研究	78
2000(平成12)年度共同研究	80
2000(平成12)年度の役職者	82
キャンパス配置図	84